

S-別紙1 特定研究 研究課題一覧(2022年度～)

特定研究	課題番号	研究課題	研究概要	本研究所の研究統括者
研究1 高齢者疾患対策研究	S-1	軸神経疾患の予防・治療研究	高齢者疾患対策プロジェクトでは、神経疾患、特に認知症や脊髄症をターゲットにして、その予防や治療に有効な生薬エキスに関する基礎研究と臨床研究を進めている。それら生薬エキスが医薬品として承認されるために必要な品質評価の基準を定めることに資する研究、または薬理学知見を深める研究を募集する。	東田 千尋 (神経機能学領域)
研究2 代謝・免疫疾患対策研究	S-2	生体防御機構をターゲットとした疾患予防・治療研究	生体において免疫・代謝システムは様々な疾患の防御システムとして働くことが知られており、またその破綻が疾患発症に結びつくことも知られている。 本研究課題ではこのような生体防御システムをターゲットとして、和漢薬を用いた疾患予防医学研究について取り組む。	早川 芳弘 (生体防御学領域)
	S-3	栄養代謝調節異常による疾患に対する予防・治療研究	栄養代謝の恒常性維持のために、分子間、細胞間、臓器間ネットワークを介した複雑な調節機構が必要である。生活習慣病の発症はこの調節機構の破綻が原因と想定できる。 本課題では栄養代謝調節機構とともに和漢薬作用の複雑な機構の解明から生活習慣病の予防・治療戦略の構築を目的とする。	中川 嘉 (複雑系解析分野)
研究3 未病医療・創薬研究	S-4	生体のゆらぎ情報に基づく未病研究	本特定研究は、(1)生体情報の「ゆらぎ」を「時間軸」の視点から理解することで各種疾病の未病状態を検出し、この未病状態の生物学的な意義を解明すること、および、(2)未病を改善・治癒することが可能な健康・医療戦略を構築することを目的とする。	小泉 桂一 (未病分野)
研究4 資源開発研究	S-5	和漢薬等の有効成分の生合成に関わる酵素の機能解析	生薬資源の確保が厳しくなる今日にあって、和漢薬等の有用成分の効率的生産方法や稀少有用成分高含量植物の生産法の開発は今後ますます重要な課題になってくる。これらの方法論を用いるためには、それらの有用化合物の生産に関わる生合成酵素が同定されていることが必要である。 そこで本研究課題では、和漢薬等の有効成分の生合成に関わる酵素遺伝子を同定することを目的とする。	森田 洋行 (天然物創薬学領域)
	S-6	植物性医薬品開発のための和漢薬の網羅的精密分析	植物性医薬品の開発には、対象生薬の効果の薬理的エビデンスの構築、臨床治験の結果とともに、生薬の品質保証が要求される。生薬の安全性、有効性と効果の安定性を担保するために、遺伝子多型の解析、活性成分の同定とそれらを含む多成分の組成を明らかにする必要がある。 本研究課題では上記を満足する生薬・薬用植物の網羅的精密分析を行い、実際に植物性医薬品の開発までを目指す。	當銘 一文 (資源科学領域)